



鶴田町農事普及だより

(5月号 令和8年5月1日～5月31日)

〈発行〉

鶴田町／鶴田町農業振興課
鶴田町農業支援センター
つがるにしきた農業協同組合
鶴翔統括支店
西北農林水産事務所
農業普及振興室

道路の汚れ防止にご協力ください！

トラクター・田植機等を使用した農作業後に田から公道へ出る際には、必ず泥を落としてから走行するようお願いいたします。また、りんご剪定枝をトラックに積んで走行する際も、剪定枝が道路に落ちないように、ご注意願います。車道や歩道に落ちた泥のかたまり・剪定枝は、自動車だけでなく、歩行者、バイク、自転車、車いすなどの通行の妨げになり、大変危険です。環境美化と交通安全のため、道路に泥や剪定枝を落とさないよう注意しましょう。やむを得ず道路を汚してしまった場合には、速やかに撤去・清掃をしていただきますよう、お願いいたします。

《春の農作業安全運動実施中》 (4月1日～5月31日)

- ① 慣れた作業でも油断せず、安全を確認して、作業しましょう。
- ② 必ず、作業の合間に十分な休憩を取りましょう。
- ③ 自分は「大丈夫」と過信せず、無理のない作業を行いましょう。

《山火事防止運動強調期間実施中》 (4月1日～6月10日)

春は空気が乾燥し、火災が発生しやすい時期です。剪定した枝等をやむを得ず園地で焼却する場合、山火事など火災の発生防止を徹底してください。

《ツキノワグマ出没警報発令中!!》 (4月20日～11月30日)

農作業は、1人での作業を避け、「ラジオやクマよけスプレーを携帯する」、「食べ物や空の容器はすぐに片付ける」、「農作業残渣は適正に処理する」など、人身被害の防止に努めましょう。

《6～8月は「農業危害防止運動」実施期間です》 農業の適正使用と隣接農地への飛散防止に十分気をつけましょう。

- ① 使用し残った農薬などは、河川等へ絶対捨てないでください。
- ② 農薬を使用する場合には、必ず最新の「農薬登録情報」を確認してください。

モモシクイガ等防除のため、交信攪乱剤の積極的な利用を！

青森県りんご病害虫防除暦の基準薬剤に交信攪乱剤（コンフューザーR）が採用されました。

- ① リンゴコカクモンハマキにおいて殺虫剤の効果が低下していること
 - ② 農薬の再評価制度に伴い、使用可能な殺虫剤が減少しつつあること
 - ③ 高温下では害虫の発育スピードが速まるため、薬剤防除を主体とした防除ではシクイムシ類の被害抑制が困難であること
- などの理由により、防除体系が変更となります。ハマキムシ類やシクイムシ類など複数の害虫への効果が期待できますので、積極的に自園地へ交信攪乱剤（コンフューザーR）を導入してください。

りんご属及びなし属植物の中国産花粉を使用しないで！

中国において、火傷病の発生が確認されたため、中国産なし、りんごの花粉等の輸入が停止されました。既に輸入された中国産花粉を介して火傷病がまん延することがないように、生産年にかかわらず、中国産花粉や来歴不明の花粉を入手・使用することがないようにお願いします。

■ 薬剤散布【農薬はぶどう園以外、他の作物、近隣の住宅等に飛散させない。】

灰色かび病、黒とう病、べと病の重点防除時期なので、昨年の病害発生状況と今年の天候に応じて防除薬剤を選択する。なお、水稲育苗ハウス内にシャインマスカットが栽培されている場合、**農薬散布、摘芽・摘梢等各種管理作業は、育苗箱搬出後に行う。**

〈スチューベン〉

散布時	基準薬剤	散布量 (ℓ/10a)
新梢伸長期 (約20cm)	ジマンダイセン水和剤	1,000倍
	又はポリオキシシンAL水和剤	500倍
	又はチウラム剤	1,000倍
	又はインダーフロアブル	8,000倍
	又はオンリーワンフロアブル	2,000倍
	又はベランティーフロアブル	8,000倍
開花10日前	パダンSG水溶剤	1,500倍
	又はアグロスリン水和剤	2,000倍
	又はアディオフロアブル	1,500倍
	アリエッティC水和剤	800倍
	又はキノンドー水和剤40	600倍
	又はチウラム剤	1,000倍
開花10日前	又はインダーフロアブル	8,000倍
	又はオンリーワンフロアブル	2,000倍
	又はベランティーフロアブル	8,000倍
	ベストガード水溶剤	1,000倍
	又はアグロスリン水和剤	2,000倍
	又はアディオフロアブル	1,500倍

〈シャインマスカット（露地栽培）〉

散布時	基準薬剤	散布量 (ℓ/10a)
新梢伸長期 (約15cm)	ジマンダイセン水和剤	1,000倍
	又はポリオキシシンAL水和剤	500倍
	又はチウラム剤	1,000倍
	又はインダーフロアブル	8,000倍
	又はオンリーワンフロアブル	2,000倍
	又はベランティーフロアブル	8,000倍
新梢伸長期 (約30cm)	パダンSG水溶剤	1,500倍
	又はアグロスリン水和剤	2,000倍
	又はアディオフロアブル	1,500倍
	ジマンダイセン水和剤	1,000倍
	又はポリオキシシンAL水和剤	500倍
	又はチウラム剤	1,000倍
開花10日前	又はインダーフロアブル	8,000倍
	又はオンリーワンフロアブル	2,000倍
	又はベランティーフロアブル	8,000倍
	アリエッティC水和剤	800倍
	又はキノンドー水和剤40	600倍
	ベストガード水溶剤	1,000倍
開花10日前	又はパダンSG水溶剤	1,500倍
	又はジノテフラン剤	2,000倍

ぶどう

霜害防止対策の徹底と適期作業、適正防除で良品生産を目指そう！

1. 霜害防止対策
りんご同様、霜注意報が出されたり、霜害防止対策を確実に実施する。

2. 摘芽・摘梢
養分の競合を防ぎ、日当たりや通風を良くするため、できるだけ早く実施する。不定芽から伸びたものうち、予備枝として利用できるものは摘除する。晩霜害の恐れがある園地では、晩霜の心配がなくなつてから最終新梢数とする。スチューベンの樹勢が強い場合は花振るい防止のため、やや多めに残し、結実の状態をみてから最終新梢数とする。最終新梢数は主枝1m当たり8～10本とする。

3. 病害虫防除
ツマグロアカカスミカメ 発生が多い園地では、展葉直前にモスヒラン 顆粒水溶剤2,000倍を散布する。

4. 温度管理
ハウス内の温度は昼間25℃前後で管理する。最低気温は15℃以上を目標とし、降雪や夜間冷え込むことが予想される場合は、被覆資材や暖房器具等を設置し気温の低下防止に努める。

5. かん水・追肥
試しかん水は、1本仕立て苗は2段花房トマト1本処理後に1株当たり1リットル、2本仕立て苗は1段花房開花最盛期に、1株当たり2リットル（1枝当たり1リットル）を目安に行う。本格的なかん水・追肥は、1本仕立て苗は3段花房トマト1本処理後から、2本仕立て苗は2段開花最盛期から行う。1回当たりの追肥量は窒素成分で約0.5kg/10a以内とする。追肥による根焼けを防止するため各液肥の基準希釈倍率は遵守する。

6. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

7. 摘果
収穫適期を過ぎると糖度が低下し、品質が低下する。収穫適期を過ぎると糖度が低下し、品質が低下する。

8. 収穫
収穫適期を過ぎると糖度が低下し、品質が低下する。

9. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

10. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

11. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

12. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

野菜

◆ トマト ◆

1. 定植後の管理
手かん水 定植後、5～6日経過しても葉齧が発生しない場合は、株元に手かん水（1株300cc程度）を行う。葉色が濃い場合はかん水を兼ねて液肥を株元に施用する。

2. かん水・追肥
試しかん水は、1本仕立て苗は2段花房トマト1本処理後に1株当たり1リットル、2本仕立て苗は1段花房開花最盛期に、1株当たり2リットル（1枝当たり1リットル）を目安に行う。本格的なかん水・追肥は、1本仕立て苗は3段花房トマト1本処理後から、2本仕立て苗は2段開花最盛期から行う。1回当たりの追肥量は窒素成分で約0.5kg/10a以内とする。追肥による根焼けを防止するため各液肥の基準希釈倍率は遵守する。

3. 温度管理
ハウス内の温度は昼間25℃前後で管理する。最低気温は15℃以上を目標とし、降雪や夜間冷え込むことが予想される場合は、被覆資材や暖房器具等を設置し気温の低下防止に努める。

4. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

5. 摘果
収穫適期を過ぎると糖度が低下し、品質が低下する。

6. 収穫
収穫適期を過ぎると糖度が低下し、品質が低下する。

7. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

8. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

9. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

10. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

11. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

12. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

追肥肥料例 (葉色が濃い場合) (2,100株/10a)

肥料名	倍数	1株当たり	必要量/10a	回数
OK-F-1	700倍	300cc	水 600ℓ 肥料 857g	3～4日おき

かん水・追肥

1. かん水・追肥
試しかん水は、1本仕立て苗は2段花房トマト1本処理後に1株当たり1リットル、2本仕立て苗は1段花房開花最盛期に、1株当たり2リットル（1枝当たり1リットル）を目安に行う。本格的なかん水・追肥は、1本仕立て苗は3段花房トマト1本処理後から、2本仕立て苗は2段開花最盛期から行う。1回当たりの追肥量は窒素成分で約0.5kg/10a以内とする。追肥による根焼けを防止するため各液肥の基準希釈倍率は遵守する。

2. 温度管理
ハウス内の温度は昼間25℃前後で管理する。最低気温は15℃以上を目標とし、降雪や夜間冷え込むことが予想される場合は、被覆資材や暖房器具等を設置し気温の低下防止に努める。

3. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

4. 摘果
収穫適期を過ぎると糖度が低下し、品質が低下する。

5. 収穫
収穫適期を過ぎると糖度が低下し、品質が低下する。

6. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

7. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

8. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

9. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

10. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

11. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

12. 病害虫防除
冬期間ビニールを撤覆していないハウスでは、トマトキバガの発生に注意し早期に防除を行う。

「農事普及だより」及び「他の農作物生産情報等」は町ホームページにも掲載しております。



URL <http://www.town.tsuruta.lg.jp/kurashi/kurashi-nougyou/post-117.html>

【農業の相談はこちらへ】

農業についての各種相談を受け付けております。受付した内容は即時対応いたしますので、気軽にご相談ください。
鶴田町農業支援センター 午前9時から午後5時
☎ 22-2111 (役場農業振興課)

